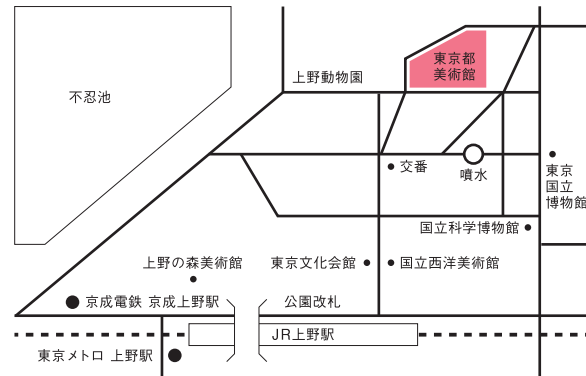


ご利用案内

交通アクセス

- ・JR上野駅「公園改札」より徒歩7分
 - ・東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅「7番出口」より徒歩10分
 - ・京成電鉄京成上野駅より徒歩10分
- ※駐車場はございませんので、車での来館はご遠慮ください。



開館時間

9:30 - 17:30
※特別展・企画展開催中の金曜日は9:30 - 20:00
※いずれも入館は閉館時間の30分前まで。

休館日

第1・3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)
※特別展・企画展：月曜日休室(祝日・振替休日の場合は翌平日)
※年末年始の他、整備休館など臨時に休館・開館することがあります。

入館料

無料 ※観覧料は展覧会ごとに異なります。

最新情報は東京都美術館ウェブサイトをご覧ください。



[X] tobikan_jp [Facebook] TokyoMetropolitanArtMuseum
[Instagram] tokyometropolitanartmuseum

発行日：2026年7月31日 発行：東京都美術館(公益財団法人東京歴史文化財団)
デザイン：emuni 印刷：望月印刷株式会社 © Tokyo Metropolitan Art Museum



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36
Tel. 03-3823-6921 / Fax. 03-3823-6920 / <https://www.tobikan.jp>

館内案内

アクセシビリティ

車いすをご利用の方へ

各フロアに車いす対応トイレがあり、館内でご利用いただける車いすの貸出もあります。
車いす：28台(自走介助兼用)／無料

小さなお子さま連れの方へ

個室スペースのある授乳室をはじめ、ベビーカー貸出やミルク用お湯のサービスもあります。
ベビーカー：5台(対象月齢1～48か月用)／無料

だれでもトイレ

大人が横たわれるサイズの介助用ベッドやオストメイト対応を備えた多機能トイレがあります。

コミュニケーション

インフォメーションでは、英語、中国語に対応しています。また、コミュニケーションボードや手話のご案内もしています。

託児サービス パパママデー

専門スタッフが対応します。
上野公園内の文化施設にお越しの方もご利用いただけます。(事前予約制)

- | | |
|---------------|-----------------|
| (A) エントランスロビー | (H) プロジェクトルーム |
| (C) チケットカウンター | (J) アートスタディールーム |
| (D) 公募棟ホワイエ | (K) エスプラナード |
| (E) 企画棟ホワイエ | |

- | | |
|----------------|---------|
| ？ インフォメーション | エスカレーター |
| トイレ | 階段 |
| 車いす用トイレ | カフェ |
| ロッカー(コインリターン式) | レストラン |
| 救護室 | 自動販売機 |
| 授乳室 | 公衆電話 |
| エレベーター | |

収蔵品

東京都美術館では、野外彫刻等の立体作品13点と書作品36点を収蔵しています。



井上武吉
〈my sky hole 85-2光と影〉
1985年



最上壽之
〈イロハニホヘトチリヌルヲカ
ヨタレンツネ……〉
1979年



青山杉雨 〈車馬囂々〉



(G) 中央棟2F
RESTAURANT MUSE
レストラン ミューズ
T 03-5832-5551



(I) 交流棟2F
スタジオ
施設貸出
T 03-3823-6921



(L) 中央棟1F
cafe Art
カフェ アート
T 03-5832-5566



(M) 中央棟1F
佐藤慶太郎記念
アートラウンジ



(O) 交流棟1F
RESTAURANT salon
レストラン サロン
T 03-5832-5101



(N) 交流棟1F
美術情報室



(B) 中央棟LBF(B1F)
ミュージアム
ショップ
T 03-5685-9110



(F) 交流棟LBF(B1F)
講堂
施設貸出
T 03-3823-6921



中央棟LBF(B1F)
Information
インフォメーション
？ お困りのことがございましたら、インフォメーションまでお越しください。



アート・コミュニケーション事業



アートを媒介として、人々のつながりをはぐくむ活動をしています。美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、さまざまなプログラムを実施しています。



東京都美術館と東京藝術大学と一般公募の市民が協働する「ソーシャル・デザイン・プロジェクト」。美術館を拠点に、さまざまな価値観を持つ多様な人と作品、人と人、人と場所をつなぐことに取り組んでいます。



上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、こどもたちの“ミュージアム・デビュー”を応援するプロジェクト。年間を通じて、ミュージアムを活用することを目的としたプログラムを実施しています。



東京都美術館と東京藝術大学が連携し、参加型のプロジェクトを企画。若い年齢にかかわらず、さまざまな年代の人が、創造的に作品と出会える機会を創出します。



2012年に開始したアート・コミュニケーション事業の歩みや実践を、体験を通じて紹介する展示。毎年夏に開催しています。会場にはアート・コミュニケータが常駐しています。



東京都美術館 ご案内／展覧会

日本語

2026.7 - 2027.6
Tokyo Metropolitan
Art Museum



2026 7 JUL	8 AUG	9 SEP	10 OCT
7.25→10.18 大英博物館日本美術コレクション 百花繚乱～海を越えた江戸絵画			
7.23→10.7 この場所の風景―上野・大牟田・プエノスアイレス			
7.31→8.10 アート・コミュニケーション事業を体験する2026 ともに観る、ともに過ごす			

東京都美術館開館100周年記念

この場所の風景 ―上野・大牟田・プエノスアイレス

2026.7.23(木)→10.7(水)

日本初の公立美術館として誕生し、美術家たちの作品発表の場として日本近現代美術の展開と共に歩んできた東京都美術館。そこから遠く離れた場所で、発表を前提とせずに私的／個人的に展開された美術活動。それぞれの「100年」を並行して振り返ることで、美術の持つ根源的な意味や、美術館の今後のあり方について再検討する機会を創出します。

企画展

東京都美術館開館100周年記念

大英博物館日本美術コレクション
百花繚乱～海を越えた江戸絵画

2026.7.25(土)→10.18(日)

4万点に及ぶ大英博物館の日本コレクションから、江戸時代の屏風、掛軸、絵巻の絵画作品と、歌麿、写楽、北斎、広重など代表的な8人の浮世絵師による版画を中心に、優れた作品を厳選して紹介します。さらに、近年の調査成果や収集の背景にも光を当てることで同館が日本美術の収集・研究・保存の第一線で果たしてきた役割をたどります。

特別展

2027 1 JAN	2 FEB	3 MAR	4 APR	5 MAY	6 JUN
11 NOV	12 DEC				
11.14→2027.3.28 オルセー美術館所蔵 いまを生きる歓び					
11.19→2027.1.11 あなたが世界を読むために					
11.19→2027.1.11 はじまりをひらく 東京都美術館の100年					

東京都美術館開館100周年記念

オルセー美術館所蔵 いまを生きる歓び

2026.11.14(土)→2027.3.28(日)

特別展

「印象派の殿堂」と称されるオルセー美術館のコレクションから、「いまを生きる歓び」をテーマに絵画や彫刻、工芸や写真など約110点を展示。近代化により急速に変わりゆく19世紀から20世紀初頭の社会で生まれた芸術は、絶えざる技術革新の波を生きる今の私たちになお新鮮な気づきをもたらしてくれます。ミレー〈落穂拾い〉をはじめ、ルノワール、モネ、ファン・ゴッホらの作品を通して、多様な歓びのあり様をご紹介します。

東京都美術館開館100周年記念

あなたが世界を読むために

2026.11.19(木)→2027.1.11(月祝)

本展は、当館の使命である「世界との絆が深まる創造と共生の場」を礎に、「世界との対話」を主題に開催するものです。「読む」とは、未知の領域に向かい、認識を深めていく行為です。アルベルト・ジャコメッティ、砂澤ビッキ、谷川俊太郎、エレナ・トゥタッチコワ、山西ももの作品により、対話の多様な在り方を紹介します。

企画展

東京都美術館開館100周年記念

はじまりをひらく 東京都美術館の100年

2026.11.19(木)→2027.1.11(月祝)

アーカイブズ展

東京都美術館の100年の歴史を振り返る展覧会です。1926年に上野の地に誕生した東京都美術館は、多様な展覧会の舞台となったばかりでなく、美術に親しみ、美術館をより身近に感じられるような活動にも先駆的に取り組み、人々と共にそのあゆみを紡いできました。本展では、当館所蔵のアーカイブズ資料を中心に、写真や印刷物をとおして、日本初の公立美術館の歴史を紐解きます。

デュフィ展

2027.4.24(土)→8.22(日)

20世紀フランスを代表する「色と光」の芸術家ラウル・デュフィ(1877～1953)。彼の創作は絵画、テキスタイル、衣装デザイン、陶器、タペストリー、家具と多岐にわたります。本展はデュフィの生涯 150 年を記念し、その多彩な創作の全貌を、パリ市立近代美術館が所蔵する名品を中心に紹介するものです。

特別展

公募団体展・学校教育展

通 年

1926年の開館以来、美術や書などの公募団体が、作品発表の場「つくる喜びを共有する場」としてさまざまなジャンルの展覧会を行っています。また、美術系の高校や大学の卒業制作展や、児童生徒の作品展も数多く開かれています。

[公募展示室・ギャラリーの使用について] 東京都美術館では一定の条件のもとに公募展示室・ギャラリーの貸出を行っています。使用申請に関する情報はURLからご確認ください。 <https://www.tobikan.jp/guide/gallery.html>

休館日 夜間開館日 カレンダー

2026 7 JUL	8 AUG	9 SEP
S M T W T F S	S M T W T F S	S M T W T F S
1 2 3 4	1	1 2 3 4 5
5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12
12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19
19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22	20 21 22 23 24 25 26
26 27 28 29 30 31	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30
	30 31	

10 OCT	11 NOV	12 DEC
S M T W T F S	S M T W T F S	S M T W T F S
1 2 3	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5
4 5 6 7 8 9 10	8 9 10 11 12 13 14	6 7 8 9 10 11 12
11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21	13 14 15 16 17 18 19
18 19 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28	20 21 22 23 24 25 26
25 26 27 28 29 30 31	29 30	27 28 29 30 31

2027 1 JAN	2 FEB	3 MAR
S M T W T F S	S M T W T F S	S M T W T F S
1 2	1 2 3 4 5 6	1 2 3 4 5 6
3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	7 8 9 10 11 12 13
10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20	14 15 16 17 18 19 20
17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	21 22 23 24 25 26 27
24 25 26 27 28 29 30	28	28 29 30 31
31		

■ 全館休館日
第1・3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日)、整備休館、年末年始
■ 特別展・企画展休室日
月曜日(祝日・振替休日の場合は翌平日) ※特別展・企画展の会期中のみ
■ 夜間開館日
9:30～20:00(入館は閉館時間の30分前まで)
最新の情報は、東京都美術館ウェブサイトをご覧ください。

東京都 美術館の 使命



東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、

子供たちが訪れる、芸術家の卵が初めて出品する、

障害のある方が何のためらいもなく来館できる、

すべての人に開かれた

「アートへの入口」となることを目指します。

新しい価値観に触れ、自己を見つめ、

世界との絆が深まる

「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、

「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。

そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」と

なることを目指して活動していきます。

東京都美術館は、日本初の公立美術館として

2026年に開館100周年を迎えました。

2026年は「世界をひらく アートのとびら」を合言葉に、

さまざまな開館100周年事業を展開しています。

東京都 美術館の 歩み

1926

東京府美術館の創設
大正15年



実業家・佐藤慶太郎から、当時の金額で100万円(現在の40億円相当)の寄付を受け、日本初の公立美術館として、1926年5月1日に開館。美術団体等による新作発表のほか、美術作家の回顧展や国内外の名品を紹介する展覧会を開催し、「美術の殿堂」として広く美術の魅力を伝える役割を担いました。

※1943(昭和18)年の都制施行に伴い、「東京都美術館」に名称変更

1975

新館の開館
昭和50年



旧美術館が手狭となり老朽化したため、前川國男の設計による新しい美術館を建設。生まれ変わった「東京都美術館」は、学芸員による企画展や作品収集にも力を注ぎ、本格的な美術館として活動を開始。今日のワークショップの源流となる教育普及活動をはじめ、一般に開放される美術図書室など、公立美術館の運営のさきがけとして活動しました。1995(平成7)年、東京都現代美術館の開館にともない、約3千点の収蔵作品と約5万冊の美術図書資料を移管しました。

2012

リニューアルオープン
平成24年

多くの人々に親しまれた前川建築を受け継ぎつつ、ユニバーサルデザインを採り入れ、レストランやショップなども充実させる大規模な改修工事を実施。新たな企画展やアート・コミュニケーション事業を開始するなど、美術館としての魅力をより一層向上させる方針のもと、2012年4月1日に「新生・東京都美術館」として再出発しました。



佐藤慶太郎 1868(明治元年)ー1940(昭和15)年

北九州市生まれ。「石炭の神様」と称された実業家。アメリカの鉄鋼王安ドリュー・カーネギーの慈善活動に共感し、東京府美術館の建設のほか、奨学金の創設や病院への寄付、国民生活改善運動の研究など、公共のために私財を投じました。